

## 令和3年度 第1回横浜市教科書取扱審議会 会議録

<b>日 時</b>	令和3年5月20日(木) 13時30分から15時15分まで
<b>開催場所</b>	市庁舎18階みなと1, 2, 3会議室
<b>出席者</b>	<p>(1) 学識経験のある者(3名)          関戸 英紀、井上 健、橋谷 由紀</p> <p>(2) 児童及び生徒の保護者(4名)          秋好 直樹、野中 慎一郎、菅野 陽子、東 隆幸</p> <p>(3) 校長及び教員(7名)          安富 江理、増田 昌浩、星野 浩、長尾 一、          西口 公恵、鬼丸 玲子、清田 英美</p> <p>(4) 教育委員会事務局職員(5名)          深沢 恵子、小島 孝道、齋藤 陽子、古田 彩乃、三村 太郎</p>
<b>欠席者</b>	中川 琴似
<b>開催形態</b>	非公開
<b>議 題</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会長・副会長の選出</li> <li>2 横浜市教育委員会からの諮問(横浜市立学校の教科書の取扱いについて)</li> <li>3 審議会の運営について</li> <li>4 根拠法令、審議会条例、基本方針、諮問文について</li> <li>5 今年度の審議について</li> <li>6 今年度の教科書採択に向けての調査研究等について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教科書調査員及び調査の観点について</li> <li>(2) 高等学校、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用の各教科書並びに学校長の意見の提出について</li> <li>(3) 中学校・義務教育学校後期課程用の社会科歴史的分野の教科書について</li> <li>(4) 南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用の社会科歴史的分野の教科書について</li> </ol> </li> <li>7 資料閲覧</li> <li>8 今後の審議について</li> <li>9 高等学校、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書の答申様式案について</li> <li>10 今後の日程について</li> </ol>
<b>決定事項</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会長を関戸委員、副会長を安富委員とすること。</li> <li>2 教育委員会からの諮問に基づき審議をすること。</li> <li>3 審議会を非公開とし、採択終了まで審議会委員名簿、審議内容、配付資料等を非公開とすること。</li> </ol>

	<p>4 「令和3年度横浜市教科書採択の基本方針」に基づき、審議会に教科書の専門事項を調査するため調査員を置き、調査報告を審議資料とすること。</p> <p>5 教科書調査員を教育委員会に推薦すること。</p> <p>6 高等学校、特別支援学校及び個別支援学級設置小・中・義務教育学校の各教科書について、学校長に意見報告書の提出を依頼し、審議資料とすること。</p> <p>7 中学校・義務教育学校後期課程用の社会科歴史的分野の教科書について、令和2年度中学校社会科歴史的分野の教科書答申、令和2年度中学校社会科の生徒の学習実態調査に関する研究結果、令和3年度中学校社会科歴史的分野の教科書調査員報告書を審議資料とすること。</p> <p>8 南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用社会科歴史的分野の教科書について、令和2年度中学校社会科歴史的分野の教科書答申、令和2年度附属中学校用教科書答申、令和2年度附属中学校における社会科の生徒の学習実態調査に関する研究結果、令和3年度中学校社会科歴史的分野の教科書調査員報告書を審議資料とすること。</p> <p>9 高等学校、特別支援学校及び個別支援学級設置小・中・義務教育学校の各教科書について、答申様式案により、次回以降答申案を取りまとめること。</p> <p>10 審議会を今後2回程度開催すること。</p> <p>以上10点について、決定した。</p>
<p><b>議 事</b></p>	<p>1 議題3について</p> <p>幹事から、公正かつ適正な審議の必要性について説明があり、公正かつ適正な審議を行うため、今後の審議会及び関係する情報については非公開とすることが了承された。</p> <p>2 議題4について</p> <p>幹事から「教科書採択に関する根拠法令」、「横浜市教科書取扱審議会条例」、「令和3年度横浜市教科書採択の基本方針」及び「諮問文」について説明があり、了承された。</p> <p>(関戸会長)</p> <p>先程、横浜教育ビジョン2030と横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領という用語が出てきたが、これについて、次回でよいので、簡単にご説明いただければありがたい。</p> <p>(根岸幹事)</p> <p>承知しました。</p>

(井上委員)

採択の観点は3つでよいのか。

(前田幹事)

採択の観点は大きく分けて3つ。昨年度と同様に、中学校教科書を調査するための観点はさらに細かく設定されている。

### 3 議題5について

幹事から、高等学校、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書は、翌年度に使用する教科書を毎年採択していること及び使用する教科書が多岐に亘るため、教科書の内容、各学校の教科・科目の開設状況、個々の児童生徒の学習実態を十分調査研究した上で、審議していくことが重要であるとの説明があった。

また、中学校・義務教育学校後期課程、南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校において、令和4年度から令和6年度に使用する社会科歴史的分野の教科書の採択を行うことについて説明があった。

(前田幹事)

先ほど観点は3つとお伝えしたが、採択全体に関わることで、これとは別に、高校と特別支援学校はそれぞれ4番目と5番目の観点がある。

### 4 議題6(1)について

幹事から、

(1) 教科書に関する専門的事項を調査するため、「横浜市教科書取扱審議会条例」及び「令和3年度横浜市教科書採択の基本方針」に基づき教科書調査員を置き、調査結果の報告を求め、それを審議資料とすること。

(2) 調査については、「令和3年度横浜市教科書採択の基本方針」で示している「3 採択の観点」に沿って行うこととし、

ア 高等学校においては、「3 採択の観点」(1)から(4)を基に教科・種目別に「編集に関する特徴」、「内容や教材等に関する特徴」の観点で調査を行うこと。

イ 特別支援学校及び小・中学校個別支援学級においては「3 採択の観点」(1)から(3)、(5)を基に「内容及び特徴」、「ねらい及び指導内容・方法」、「推奨する教科等」の観点で調査を行うこと。

ウ 中学校社会科歴史的分野の教科書については、「3 採択の観点」(1)から(3)と別途定められた調査項目に基づき、社会科の具体的な調査項目を設

定して、調査を行うこと。

について説明があり、了承された。

(3) 教科書調査員について、審議会から幹事に候補者の提案依頼がされた。

幹事から「令和3年度横浜市教科書採択の基本方針」に基づき、教育課程及び各教科に精通し、教科書の著作、発行等に関し利害関係を有しないという観点で選出した教科書調査員候補者について提案があり、審議の結果、原案どおり了承され、教育委員会に推薦することになった。

#### 5 議題6(2)について

幹事から、高等学校、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級で使用する教科書について説明があった。

続いて、幹事から、高等学校では、多くの学科やコース、特色のある教育課程の編成、教育理念や学校の特色、生徒の実態、学科の特色等に応じて科目が異なること、また、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級では、児童生徒一人ひとりの障害の状態や特性に応じた多様な学習を行っていることから、適正な審議を行うため、高等学校、特別支援学校及び個別支援学級が設置されている小・中・義務教育学校について、学校の特色や児童生徒の実態について、学校長の意見を聴取し、審議資料とすることが提案され、了承された。

#### (秋好委員)

学校教育の専門家ではない保護者或いは市民として見た場合に、この審議会や実際に採択を行う教育委員会で、重要なのは採択の視点や観点だと思う。

観点は3つあるが、一番わかりやすいのは観点3の「体裁」のところである。特に観点3②は、デジタル教材の活用や環境面への配慮について書かれており、市民の目から見てもわかりやすい。しかし観点3だけを重視しすぎると、その観点だけで教科書が選ばれているのだと比重が偏って受け止められてしまう可能性がある。

一方、観点1と2は市民の目から見ると専門的で分かりづらく内容が多岐に亘っている。しかし、観点の1と2は非常に大事で、審議会で深い議論がなされ、情報が市民に公開されるべきである。

観点1、2について私たちも理解を深めるためにも、関戸会長からも話があった「教育ビジョン」の説明を早いうちにしていただきたい。

そこに関連して、例えば環境への配慮というと、よくSDGsという話が出てくるが、このSDGsという言葉は非常にキャッチーなので、その言葉に関心が引られる可能性がある。教科書の内容が環境面に配慮されていてSDGsに

繋がるべきで、そういった点に配慮して議論すべきだと思う。

(前田幹事)

観点3は確かに分かりやすく調査もしやすい項目になっている。観点1、2に関しては、教科の専門家である調査員が、教科の視点に落とし込んで調査をしていくことになるので、調査員報告書が出てきた時点で、皆さまにも分かりやすく説明をさせていただき、それを基に、また、議論を進めていただきたいと思いますと考えている。

観点2に関しては、横浜の子どもにとってより適しているか、という視点が中心となっている。教育ビジョンのことにも触れたが、これに関しても、審議員の皆様に共通理解のため、関戸会長からも提案があり、次回皆さまと共有させていただきたいと思う。

SDGs に関しても、日本だけに限らず、世界中で注目を集めているが、そこだけに引きずられないで、本当に何が大事な価値なのかということも含めて議論をしていただきたいと思います。

SDGs の取り上げられ方も教科書会社によっていろいろな形があり、表面上に載せているところもあれば、もう少し、それを基に深く内容に切り込んで来る部分もあったかと思う。その辺も次回お示しさせていただけたらと思う。

P. 17 の項目は、中学校の社会科の歴史的分野を調査する観点であり、高校・特別支援学校・個別支援学級とは異なるので、その点は、ご理解いただけたらと思う。

(橋谷委員)

採択の観点について、この教科でこういうことを育てていきたいということ、次回以降でよいので分かりやすく説明していただけるとありがたい。

(小出幹事)

次回以降、実際に高校の報告書が上がってくる中で、資料が提示できるように準備を進めていきたい。

(鬼丸委員)

お聞きしたいことが2点ある。1点目は、新しく開設されると聞いている情報の科目等について、小中学校の教科書には、デジタル化のページを開けると二次元コードが付いていて、そこから見たい情報が見られるようになっているが、時間がなくて全部は見られなかったが、高校の教科書にもそのような工夫が取り入れられるのか。

2点目は、今年度から使っている中学校社会科の教科書が採択されるということだが、この歴史教科書に対しては、市民の関心も集まっていると思う。私自身も昨年度関心を持ってこの審議会に臨んだ記憶がある。調査員の労力はものすごく大きく、またそれを繰り返すのかと。法律上そうなのだから仕方ないのかもしれないが、現場では、また1年後に替わるかもしれないというもやもやとした思いがある。この点について御説明いただけたらと思う。

(小出幹事)

高校の教科書について、新たに発行予定のものは328点ある。情報については、まだこれから見本本を詳しくみていく段階だが、見たところ、英語では音声がスマホで聞けるなどがある。2回目の審議会、或いは、この後時間があれば、ゆっくり教科書を見ていただければと思う。令和4年度の教科書目録もご用意させていただいており、その中で、◆マークはデジタル教科書発行予定の教科書を示している。「情報」については次回の審議会でご案内できればと考えている。

(前田幹事)

補足すると、小中学校の二次元コードには検定基準があり、これに準じて高校の基準も改正を行っているようである。参照先の内容が教科書の内容に密接に関連するもの、客観的に不適切と明白な情報ではなく、扱いが公正、発行者の責任において管理できるもの。というような形で基準を決めているので、それに準じて教科書が作られているのではないかと思う。

2点目は、中学校の社会科歴史分野について、この後説明させていただくので、その説明を聞いていただいたうえで、もう一度ご議論いただきたいと思う。

(井上委員)

教科書に付いている二次元コードから飛んだ先、そこまでを教科書として考えるのか。飛んだ先の面白さなどの観点で教科書を選んでしまわないか、その辺りを今後紹介していただきたい。

(前田幹事)

基本的には紙のものが教科書で、法律上もそうになっている。飛んだ先が充実しているからといって、教科書調査にそれが大きく反映されるということではない。

調査員は参考として、二次元コードから飛んだ先がどうなっているのかを見てはいるが、昨年度、一昨年度の小中学校の調査でも、二次元コードから飛ん

だ先が教科書の内容と適切にリンクしているかというところは見ても、そこが充実していることが調査研究の大きな判断基準にはなっていない。基本的には紙の教科書を調査研究している。

(井上委員)

恐らく今後は、二次元コードから飛んだ先を教科書会社が充実させていくと思うので、ICTやGIGAスクール構想の観点から検討してほしい。

6 議題6(3)について

幹事から、中学校・義務教育学校後期課程用社会科歴史的分野教科書について説明があった。

続いて、幹事から、令和2年度中学校社会科歴史的分野の答申、令和2年度中学校社会科の生徒の学習実態、令和3年度中学校社会科歴史的分野の教科書調査員報告書を、本審議会で審議を進めていく上での資料にすることが提案され、了承された。

7 議題6(4)について

幹事から、南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用教科書について説明があった。

続いて、幹事から、令和2年度中学校社会科歴史的分野の答申、令和2年度附属中学校用教科書答申、令和2年度附属中学校社会科の生徒の学習実態、令和3年度中学校社会科歴史的分野の教科書調査員報告書を、本審議会で審議を進めていく上での資料にすることが提案され、了承された。

8 議題7について

委員が各自、教科書見本を閲覧するなどの教科書研究を行った。

9 議題8について

幹事から、今後の審議内容及び審議会開催回数(2回程度)について説明があり、了承された。

10 議題9について

幹事から、高等学校用教科書答申様式案並びに特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書答申様式案について説明があり、了承された。例示された答申案の様式に基づいて答申案を作成し、審議することになった。

	<p>11 議題 10 について</p> <p>幹事から、次回以降の審議会開催日程について提案があり、第 2 回を令和 3 年 7 月 1 日（木）、第 3 回目令和 3 年 7 月 15 日（木）に開催すること、及び関戸会長から第 2 回目終了予定時刻を 12 時 30 分とすることについて提案があり、ともに了承された。</p>
<p>資 料 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 令和 3 年度第 1 回横浜市教科書取扱審議会次第</p> <p>(2) 令和 3 年度第 1 回横浜市教科書取扱審議会資料</p> <p>(3) 令和 3 年度教科書調査員の推薦について（案）</p> <p>(4) 教科書の取扱いに関する意見の聴取について（案）（高等学校）</p> <p>(5) 教科書の取扱いに関する意見の聴取について（案）（特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級）</p> <p>(6) 答申様式案（高等学校）</p> <p>(7) 答申様式案（特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級）</p> <p>2 特記事項</p> <p>審議内容及び審議資料については、採択が終了するまでは非公開とする。</p>